

4. 融雪災害発生分布（中南地域，平成17年～平成26年）



中南地域は特に融雪災害が多い地域です。西側には岩木山と白神山地、南には秋田県・岩手県と県境をなす山地、東には奥羽山脈といった三方を1000m級の山々に囲まれた盆地状の地形となっております。また北側は津軽平野が開けており、シベリア寒気団からの季節風が入り込む地形となっているため、近年では、場所により最大積雪深が2mを越す年もでてきております。

過去10年間の融雪災害が発生した場所（青森県に報告があった場所）を地図に落としてみると、黒石市長坂地区・派立子地区、平川市唐竹地区・沖館地区といった盆地東側の西向き斜面に多く発生しているのが判ります。これは急な斜面と崩れやすい土質、様々な気象条件が重なって発生していると思われます。

弘前市に関しては、大沢地区に集中しており、ここもまた黒石市や平川市と同様の地形条件であると思われます。

マニュアルを活用するにあたり、みなさんの農地がある地域がどういった場所にあるのかを確認していただき、適切な対策をたててください。